

ソリューション・サービス特集に寄せて



常務取締役

前田 裕

Yutaka Maeda

情報通信融合の進展とe社会®

2001年以降、企業だけでなく一般家庭においてもネットワークの普及とそのブロードバンド化が急速に進んでいます。たとえば、ブロードバンド化の牽引役となっているADSLの契約者数を見ますと、2001年は約160万件、2002年は前年比350%増の約560万件、2003年では前年比170%増の1,000万件まで契約が伸びており、FTTHやケーブルの契約者数を含めると約1,300万世帯がブロードバンドネットワークを利用していることになります。また公共スペースやカフェあるいは新幹線など多くの場所でホットスポットサービス（無線LANによるインターネット接続サービス）が開始されつつあり、ビジネスモデルが確立していない等の課題は残るものの、場所と時間を選ばないネットワーク接続環境は着実に整備されつつあると言えます。一方で、IP電話や音楽配信あるいはビデオ配信といったブロードバンドネットワークを活用したサービスビジネスが軌道に乗りつつあり、先行していたエンタープライズ市場のみならず、コンシューマ市

場においても情報と通信の融合がようやく本格化して来たと言えるでしょう。まさにデータ・オン・デマンドの時代が始まりつつあります。

このように、ブロードバンドネットワークがインフラストラクチャとして整備され、その上で提供されるさまざまなサービスに対して、誰でもが自由に、また時間と空間の制約を超越し、アクセスできる社会が徐々に姿を現そうとしています。沖電気ではこのような社会を「e社会®」と呼んでいます。e社会®^{*1)}の究極のゴールは、グローバルに展開したネットワークを基盤として「個」が主役となる社会と考えられ、自由・公正・安全で誰もが安心して心豊かな生活を送ることができる社会と考えています。

e社会®の実現に向けた取り組み

当社は「ネットワークソリューションの沖電気」という企業ビジョンを掲げ、お客様にさまざまなソリューションを提供することで、真のe社会®実現に貢献するこ

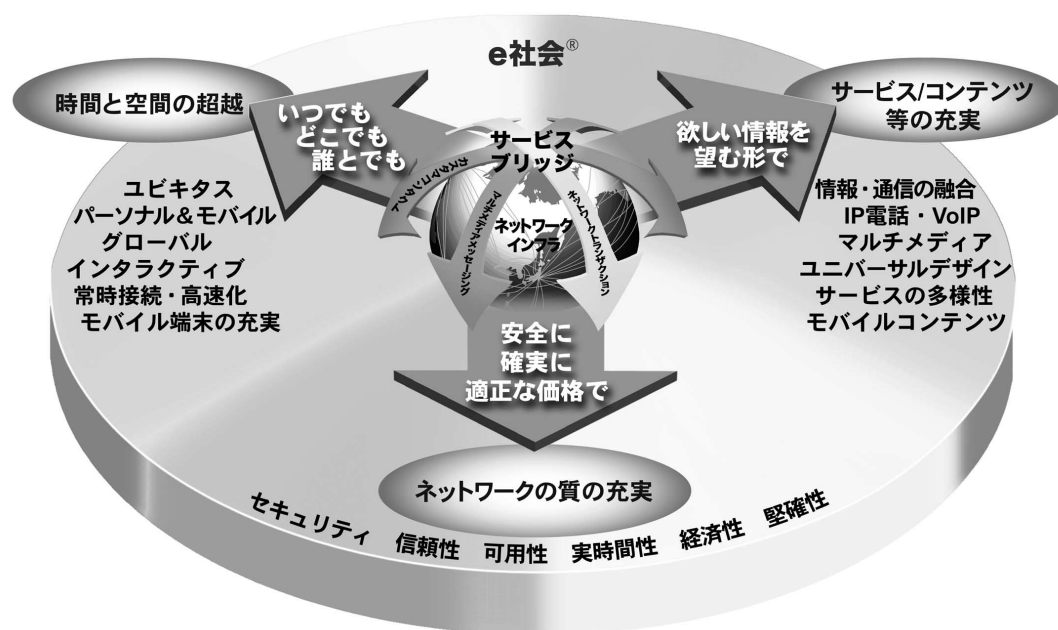


図1 e社会®実現に向けたネットワークの機能

とを目指しております。先にも述べましたように、e社会[®]はグローバルなネットワークインフラをベースとして実現されると考えられます。ここで、ネットワークが持つべき重要な機能として、時間と空間の超越（いつでも、どこでも、誰とでも）、サービス／コンテンツ等の充実（欲しい情報を望む形で）、ネットワークの質の充実（安全に、確実に、適正な価格で）という3つが考えられ、これをどのような形で提供していくかが課題となります。当社では、このネットワーク上で実現されるべき機能、言い換えれば、ネットワークとe社会[®]をつなぐ技術やシステムソリューションさらにはサービスを、「カスタマコンタクト」、「マルチメディアメッセージング」、「ネットワークトランザクション」という3つのサービスブリッジという概念で分類し、それぞれの技術開発戦略および事業戦略に沿って活動を展開しております（図1）。

サービスブリッジと注力技術

以下では、e社会[®]の架け橋となる3つのサービスブリッジと、これを支えるネットワークインフラに関し、当社の取組みを簡単にご説明致します。

(1) カスタマコンタクトサービスブリッジ

金融営業店システムや業界シェアナンバーワンのATM（現金自動預払機）あるいは、コンビニなど集客スペース向けの多機能情報ターミナル等、お客様とのコミュニケーションの接点となるシステムを中核に信頼性の高いソリューションを提供しております。また既に販売を開始したChannelNavigator^{®*1)}をはじめとして、ネットワークを活用し、端末だけにとどまらない、質が高く行き届いたサービスを実現するためのソリューションも提供していく予定です。

(2) マルチメディアメッセージングサービスブリッジ

オープンで拡張性に優れたCTI（Computer Telephony Integration）技術や音質の高さで定評のあるVoIP（Voice over IP）技術など、コンピュータテレコミュニ

ケーション技術をコアに、CTstage^{®*1)}、IPstage^{®*1)}、VoIPサーバなどパーソナル・モバイル時代に求められる利便性の高いコミュニケーション環境を実現するソリューションを提供しております。また、高画質なMPEG4コーデックが特徴のOKI MediaServerを中核とする映像ソリューションも注力している分野の一つです。

(3) ネットワークトランザクションサービスブリッジ

ネットワークを介した情報交換に不可欠となる高いセキュリティレベルの決済サービスをはじめ、ネットワーク上の多様なビジネスやサービスに最適なトランザクション処理をソリューションとして提供するとともに、AP@PLAT^{®*1)}と呼ぶ情報通信融合のコンセプトのもと新しい商品/技術開発に取り組んでおります。

(4) ネットワークインフラ

e社会[®]を実現するサービスブリッジの基盤として、個人／家庭から企業、キャリア／ISP（Internet Service Provider）までそれぞれ最適な信頼性の高いネットワークの構築・保守・運用を、トータルソリューションとして提供しております。

本号のソリューション／サービス特集では、これら3つのサービスブリッジに関連する最新のソリューションとサービス事業について、具体的な事例を交えながら御紹介させていただいております。また一般記事として、これらのソリューションを支える画像処理技術や通信技術、ソフトウェア開発技法についても御紹介しております。

なお、マルチメディアメッセージングを支える当社の技術やプロダクトについては2002年10月発行の沖テクニカルレビュー192号に別途詳しい特集が組まれております。また、ネットワークトランザクションに関しては、2004年1月発行の197号で特集が組まれておりますので、これらもぜひ御参照いただき、e社会[®]実現に向けた当社の取り組みの、本号でお伝えしきれていない部分の御理解の一助としていただければ幸いです。 ◆◆

*1)e社会、ChannelNavigator、CTstage、IPstage、AP@PLATは沖電気工業(株)の登録商標です。